

山梨県中小企業団体中央会機関誌

中小企業 タイムズ

11月号

2015年
第708/283号
(毎月1日発行)

今月の見どころ

- 1面 ● 富士東部地域で
組合交流会を開催!
- 2面 ● 求人企業支援サイト
「あうら山梨」のご紹介
- 4面 ● 組合の事業活動をご紹介
- 7面 ● 「青年中央会／山梨県大会」を
開催
- 8面 ● 中小企業団体
親睦ゴルフコンペを開催

10月の出来事

● 時事

5日…マイナンバー法施行
環太平洋パートナーシップ協定(TPP)、
大筋合意
ノーベル医学生理学賞に大村氏、
荏崎市出身

6日…ノーベル物理学賞に梶田氏

● 山梨県中央会ニュース

17日…第46回中小企業団体
親睦ゴルフコンペ
20日…富士東部地域組合交流会
26日…組合青年部県大会

11月の予定

20日…第67回中小企業団体全国大会
27日…活力ある職場づくり推進運動
山梨県大会

発行所 山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215・FAX (237)3216

http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

定価100円

昭和36年4月10日 第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

富士東部地域の未来を語る! 業界代表者が一堂に会す!

第19回富士東部地域組合交流会開催



交流会の様子

中央会は10月20日(火)に富士吉田市のハイランドリゾートホテルにおいて、富士東部地域組合交流会を開催、富士・東部地域の中小企業組合関係者約100名が参加し、富士東部地域の活性化を目指し、経済環境や将来の展望などについて共通の認識を深めた。

今回で19回目となる交流会は、富士山の世界文化遺産登録から2年が経過し、外国人観光客等により大きく変化している富士東部地域の経済状況を地域全体の継続的な経済発展に繋げていくために開催した。

交流会は細田幸次副会長により開会し、松葉惇会長の主催者あいさつの後、山梨県産業労働部長代理上小澤始次長から来賓あいさつ、山梨県富士工業技術センター小俣芳久所長、富士吉田商工会議所堀内光一郎会頭の紹介を行った。

講師及び事例発表進行役を務めた
株式会社電縁 佐藤雅信氏

第1部の講演会と事例発表では「変わる富士東部地域、新たな潮流へのキャッチアップ」をテーマに、(株)電縁のマネージメントディレクター佐藤雅信氏より、富士山の世界文化遺産登録をきっかけに活況を呈している富士東部地域の経済状況の流れにキャッチアップしていくために必要な企業経営のあり方についての講演が行われた。佐藤氏からは、自社の状況を把握し現状を知ること、従業員の育成を含めた会社の強みを伸ばすことで、千載一遇のビジネスチャン

スをつかむことができるなどといった話がされた。

続いて、佐藤雅信氏がコーディネーターとなり、富士東部地域の業界組合代表者3名からの事例発表が行われた。

1人目の榎田則夫 西桂織物工業協同組合理事長(株)榎田商店 社長)からは、～産地と生きる機屋の歴史と挑戦～として、これまで歩んできた機屋の歴史や、経営革新事業や従業員の意識改革など新たな取り組みなどについて、2人目の石原英司 上野原機械器具工業協同組合専務理事(石原工業(株) 社長)からは、昨年組合設立60周年を迎えた上野原機械器具工業協同組合の歴史と上野原地域の経済状況と将来展望、少子高齢化を見据えた人材育成の取り組みについて、3人目の山下茂 河口湖温泉旅館協同組合 理事長(ロイヤルホテル河口湖 会長)からは、富士山世界遺産登録から見えた河口湖観光業界の現状、今よりも3～5年後が大事だという今後を見据えた足場固め、外国人観光客に向けた新たな取り組みについて、それぞれ業界の状況、活動内容、今後の展望などの発表がなされた。

事例発表のまとめとして、佐藤雅信氏より、富士東部地域の新たな潮流として富士山の世界遺産登録、圏央道延伸、東京五輪の開催などを今後のビジネスチャンスとして捉え、個々企業がそれぞれの業種や分野でチャンスを活かす取り組みを行うことが地域経済全体の発展に繋がると総括があった。

第2部では、富士東部地域組合交流会開催以降初の試みとなった連携交流パーティーが行われ、開会挨拶として渡辺教一副会長から、改めて地元富士東部地域の中小企業が協力し合って地域全体を盛り上げていきたいと力強い決意が述べられた。

また、参加した富士・東部地域の中小企業組合関係者それぞれ名刺交換を行うなど懇親を深め、交流会を閉会した。



挨拶をする松葉会長

榎田 則夫
西桂織物工業協同組合 理事長
(株)榎田商店 社長)石原 英司
上野原機械器具工業協同組合 専務理事
(石原工業(株) 社長)山下 茂
河口湖温泉旅館協同組合 理事長
(ロイヤルホテル河口湖 会長)

優秀な人材の確保に向けて 登録企業募集中

<https://www.aura-yamanashi.jp/>



中小企業の魅力を発信し、若者・女性・シニア人材と企業のマッチングを応援するサイト『あうら山梨』をご紹介します。

中央会では、中小企業庁より補助を受けて実施する「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」において、求人企業・求職者支援サイト『あうら山梨』を8/29にオープンしました。このサイトは、県内の中小企業の魅力の発信と人材確保との支援を目的としており、企業が求める人材と求職者が求める仕事とのサイト内でのマッチングを応援するサイトです。

本サイトでできること

- 登録企業のページでは、自社の事業内容・強み・製品・サービスなどの企業情報をPRすることができます。
- サイト内では、求人ニーズにあった登録求職者を探すことができ、求職者にスカウトメッセージを送ることができます。(マッチング検索機能)

登録のご案内

- 本サイトへの登録・掲載は、『中小企業』に限定しております。
 - 登録・掲載にかかる費用は無料です。
 - 登録は、本サイトよりご登録頂けます。登録について専門家派遣(無料)も行っています。
- 企業イメージを広く周知したい。人材確保に高額な費用はかけられない。ニーズ似合った人材に出会えない。という企業様は、是非ご登録いただき、本サイトをご利用ください。

▶あうら山梨…<https://www.aura-yamanashi.jp/>

▶本件についてのお問い合わせは、中央会労働対策課まで…☎055-237-3215

「あうら山梨」サイトイメージ

「いらないものを捨てる」の先にあるもの



先日、燃えないごみを収集場所に出しに行ったのだが、出されていたごみの量が多くて驚いてしまった。年末の大掃除の季節でもないのにどうして多いのかと考えてしまった。

昔からモノを大切にすることは日本人にとって美德であったために、捨てることには心理的な抵抗感がつきまってきたが、最近では溢れかえるモノを目の前から消すために捨てることを選択する人が多い。流行りの「断捨離(だんしゃり)」という言葉も、「必要なモノの数を減らし生活や人生に調和をもたらそう」という本来の意味ではなく、「いらないモノは捨てましょう」といった捨てるためのテクニックだと考えている人もいるようである。

大量生産＝大量消費という物質的欲望をドライブするビジネスモデルが永らく経済成長を牽引してきたが、地球環境の維持や資源の有効活用といったグローバルな視点からは、こうした経済成長モデルが破綻していることは明かである。

また最近では、捨てるのではなく、有効利用してくれる人によってもらうためにフリーマーケット、リサイクルショップ、ネットオークションなどのリサイクルのための新たな流通形態が盛んになっている。

リサイクルは地球環境の保全や資源の枯渇といった課題の根本的解決にはなっていないが、当面、積極的に取り組まなければならない選択肢の1つである。

いずれ人類が地球上の1つの種として生存させていただくためには、無用な^{とうじん}蕩尽を続けるのではなく、消費と生産のバランスをとることが必要であり、それを人類全体で共有しなければならない。そのための第一歩として、まずは「いらなくなったモノを捨てる」から「いらないモノは買わない」「大切に使う」「使わなくなったらリサイクル」、そして「不要なモノは持たない」へシフトして行くことが必要ではないかと思う。

▶ データから見た

業界の動き

平成27年
9月分

●情報連絡員からの景況報告の概要

9月の景況は、台風等の天候不順による生鮮食料品等の値上がりに伴い消費者マインドの低下が色濃くなった。

また、公共工事の発注件数や金額の減少により地域経済の景況悪化や中国経済の急激な減速により山梨県内の電気機械器具製造業や地場産業である宝飾業の受注が減少するなどの影響が出始めているとの報告が多い。

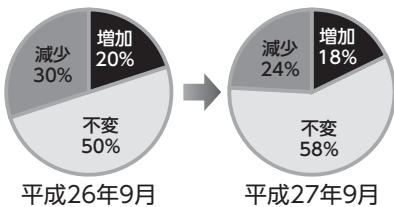
しかし、円安で日本での滞在や買い物が割安になっているのに加え、政府による査証(ビザ)の発給要件緩和や消費税の免税制度拡充等により訪日旅行者によるインバウンド消費は宿泊業を中心に拡大が続いており、中国の景気下振れの影響は該当する業界では、まだ、うかがわれない。

総じて山梨県内の中小・小規模企業は原材料高や人手不足によるコストの増加が続き、仕入・製造コストを押し上げるも販売価格への転嫁が進まず収益が圧迫される企業が増加すると見込まれる。



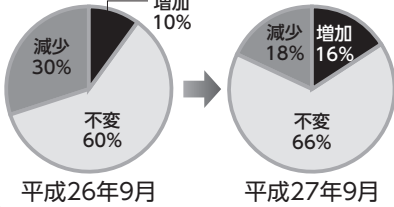
データから見た業界の動き(平成27年9月分)

▶売上高(前年同月比)



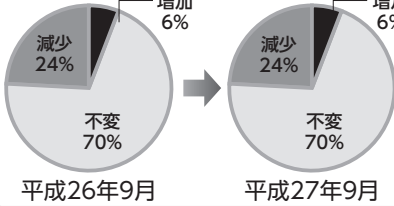
- DI値▲6(前年同月比+4)
- 業種別DI値
製造業 ▲10(前年同月比+5)
非製造業 ▲3(前年同月比+4)
- 前月比DI値
製造業 10ポイント改善
非製造業 10ポイント改善

▶収益状況(前年同月比)



- DI値▲2(前年同月比+18)
- 業種別DI値
製造業 ▲15(前年同月比+10)
非製造業 +7(前年同月比+24)
- 前月比DI値
製造業 不変
非製造業 3ポイント悪化

▶景況感(前年同月比)



- DI値▲18(前年同月比±0)
- 業種別DI値
製造業 ▲20(前年同月比▲5)
非製造業 ▲17(前年同月比+3)
- 前月比DI値
製造業 5ポイント悪化
非製造業 不変

業界からの報告

■製造業

- 食料品(水産物加工)／ギフト関係は前年比30%減少だが、おせち関連や生食材等が順調のため全体の売上は前年同月比120%。
- 食料品(洋菓子製造)／自社製品や台湾向け輸出が順調のため、全体の売上は前年同月比107%。原材料が高止まりしており採算面は改善していない。
- 食料品(菓子)／前年よりも売上は増加傾向にあるが、円安等の影響で原材料が高騰しているため値上げ分を価格転嫁できず利益確保が難しい。
- 繊維・同製品(織物)／ネクタイや傘地は来期用見本の準備、裏地やインテリア用品は受注が一段落し今月は厳しい。また、クールビスによる影響やブランドメーカーとの生産契約が終了したため産地としての生産量は減少傾向にある。
- 繊維・同製品(アパレル)／秋冬物の受注は鈍化。しかし、自社ブランドの製造販売は好調。

- 窯業・土石(砂利)／山梨県より公共工事が追加発注されたが、道路工事が多く骨材の需要は少ない。
- 窯業・土石(山碎石)／製品出荷量が前年当月比12%以上減少し、さらに諸資材の高騰により利益率は下降気味。
- 鉄鋼・金属／全体的に受注量が下降気味。
- 電気機器①／電機、鉄鋼、機械など各業界において物量の変動が激しく納期やコスト面で厳しい状況。短納期、低コストでの受注のため、原材料、人件費が割高となり受注量が増加しても採算が難しい。
- 電気機器②／中国経済が急激に減速しているため、国内の景気も急速に鈍化。
- 宝飾(研磨)／中国の金融不安から中国人バイヤーの仕入が慎重になっている。国内需要は非常に厳しい。
- 宝飾(貴金属)／業況は低下気味。

■非製造業

- 卸売(紙製品)／国内需要が増加し価格を押し上げている。新聞や雑誌の購読数が半減し、さらに古紙は減少傾向。仕入れ競争が激化し収益確保が厳しい。
- 卸売(ジュエリー)／国内需要が厳しい上、中国経済の減速などにより中国バイヤーへの販売も下降気味。例年、クリスマス商戦に向けての受注がある時期だが、動きが鈍い。
- 小売(青果)／台風等の影響により入荷量が減少したため、価格面は高値で推移。消費減少と売上減少が直結し全体的に収益減。
- 小売(食肉)／前年同月比、売上は伸長。国内産の豚肉の取引価格が値下がりしたため、収益面も多少好転。
- 小売(石油)／原油価格、卸売価格の値下がりににより市場価格も下がっているため粗利益を圧迫。慢性的な人手不足で人材確保難。
- 不動産取引／値引き交渉の依頼が多く、ハケ岳南麓の物件の問い合わせが増加傾向。
- 宿泊業／シルバーウィークがあり宿泊が好調。外国人旅行者は増加傾向にあるため連休直前の宿泊予約は困難な状況。
- 美容業／固定客の減少や高齢化のため客単価、売上ともに伸びない。

- 警備業／売上は、前年同月比5%減、前月比5%増。販売価格や取引条件は改善傾向。
- 建設業(総合)／9月の県内公共工事動向は、前年同月比、件数9%減少、請負金額7%減少。9月までの累計では、件数10%減少、請負金額8%減少。
- 建設業(型枠)／業況悪化。仕事量の絶対数が少なく、暇な状況が続いている企業が多い。
- 建設業(鉄構)／首都圏等の県外物件により稼働率を高め経営を維持。慢性的な技術者・技能者不足。
- 設備工事(電気工事)／民間工事は増加傾向だが、公共工事は減少。元請工事が減少して下請工事が増加傾向。
- 設備工事(管設備)／円安による原材料の値上げ等、経費の上昇分を価格に転嫁できず体力を消耗。人手不足による人件費の増加も収益悪化の懸念材料。
- 運輸(タクシー)／業況回復ではないが、イベント開催等があり売上は前年同月比伸長。
- 運輸(トラック)／労働時間を短縮させるため、高速道路の使用が増加し前年同月より経費増。

オピニオン opinion

功刀自動車株式会社 代表取締役 清水 勇氏(西甲府自動車整備協業組合 前理事長)

信頼の車修理屋さんを目指して

当社は自動車整備と販売を主たる事業に、昭和40年に甲府市徳行で創業、平成17年に竜王町(現甲斐市)西八幡に完全移転し、現在に至っています。

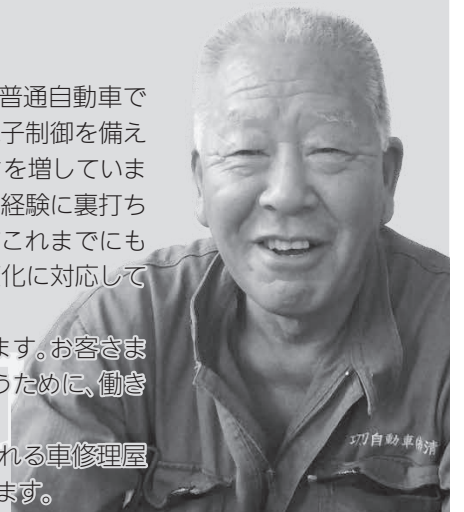
扱う車両は、一般普通自動車はもちろんのこと、パワーシャベルなど車両系建設機械やフォークリフトなど荷役運搬機械も得意としており、それら特殊車両は取り扱い台数の60%を占めています。社員18名の内8人の整備士体制で、部品さえ調達できればどんな車両でも直す自信があります。

創業者の功刀健次氏には後継者が無かったため、私が平成17年に事業を引継いだ際に創業者とともに築き上げてきた信頼と実績のある社名をいただくこととしました。そのお陰でリーマンショック以降でも、お客様と台数を維持することができています。

自動車業界を取り巻く環境は大きく変化しています。普通自動車ではハイブリッドカーや自動ブレーキ搭載車など高度な電子制御を備えた自動車の普及、特殊車両では排ガス規制が年々厳しさを増しています。こうした業界の変化に柔軟に対応していくためには、経験に裏打ちされた高い知識と高度な技術をもった整備士の育成がこれまでも増して重要になります。自動車整備業界の経営環境の変化に対応していくためには人材が一番重要です。

整備士として一人前になるためには最低3年を要します。お客さまからは高い評価をいただき新人の教育係も担ってもらうために、働きやすい職場環境の整備にも力を入れています。

当社は、今年で創業から半世紀を迎えました。信頼される車修理屋さんを目指してこれからも奮闘していきたいと思っています。



TOPICS

山梨県と災害時の協力体制を確立! ～遺体処理等に関する協定を締結～

山梨県葬祭事業協同組合(上田孝二理事長 組合員12社)は10月14日、上部団体である全日本葬祭業協同組合連合会(以下、全葬連)とともに、山梨県と「災害時における遺体の処理及び埋葬の協力に関する協定」を締結した。



今回の協定の必要性を述べる
上田理事長

近年、東日本大震災をはじめ、地震や津波、土砂災害等の自然現象等による被害が全国で発生している。こうした災害時の対応で苦慮することのひとつに、遺

体の処理がある。今回の協定では、自然災害発生時に山梨県及び各市町村からの要請に基づき、遺体の搬送や葬儀、遺体の処理や埋葬に係る物品(棺、収納袋、ドライアイス等)の提供を行うこととなった。

遺体の処理については、誰しもが行えるわけではない。誤った処理をすると、処理をした者が細菌感染するなどの二次災害を引き起こす可能性もある。今回の協定により、遺体の処理を専門家である葬祭組合の事業者が行うことで、こうした二次災害を未然に防ぐことを目的としている。また、全葬連との三者協定とすることにより、万一、山梨県の組合員が被災して対応できない場合でも、全国の葬祭組合の組合員から支援を受けられる体制が構築できた。

今回の協定締結を受けて上田理事長は、「災害は発生しないことが良いし、被災者も出ないことが一



協定締結式の様子
(左から全葬連 松井会長、後藤知事、上田理事長)

番。しかし、万一を想定して被災時の対応を考えておくことは、非常に重要である。今回の協定締結により、山梨県が被災した際、本組合や全国から支援を受けられる体制が出来たことは、山梨県民にとっても大きな安心に繋がる。組合では、今後も社会から求められる責務を精一杯果たしていきたい。」と述べている。

TOPICS

組合員のためのBCP(事業継続計画)策定へ取り組み

山梨県山砕石事業協同組合(千野進理事長 組合員13社)では、「貴重な人材を守ることが、各社の事業を守ることにつながる」として、組合員企業のBCP(事業継続計画)策定に組合として取り組んでいる。

災害によって道路や擁壁(ようへき=道路わきのコンクリート等の壁)などの生活インフラに被害が発生した場合、砕石業者は復旧のために砂利などの資材の供給をいち早く行わなければならない



専門家と共に採石現場で事業を検証

い。一方、組合員事業所の砕石現場は、業務の遂行が不能になるような直接的被害を受ける可能性が高い。生活インフラの一端を支える建設関連業種として業務が止まってしまうと、緊急時に社会的責任を果たせないことにもなりかねない。

こうした事態に対応するため、災害によって砕石業務が止まった場合の復旧方法をあらかじめ決めておくことが必要であるとして、BCP策定の取り組みが始まった。

一般的に組合等でBCP策定研修をする場合、仮想事例をもとに行うことが多いが、今回は(株)荒井建材を事例に基本方針の策定や事業継続に必要な経営資源や具体的業務についての洗い出し作業を行い、参加組合員が自社での計画策定に取り組む際にどのように行わなければならないかを具体的に理解してもらえるように取り組んでいる。

「砕石業は現場状況が刻々と変わる自然相手の資源産業で、災害が発生した場合には大きな被害をこうむる特異性がある。組合員の経営を支える事業を行うことが組合の責務であり、荒井建材をモデルに策定したBCPを砕石業におけるBCPのモデルとして全組合員や、関連団体にも普及を図ることで、業界全体のBCP普及につなげたい。」と千野理事長は語ってくれた。

BCP策定に関するご質問・ご相談は、中央会連携組織課まで



専門家 (株)電縁 佐藤雅信氏

TOPICS

「山梨県の日本酒で乾杯 15歳の新たな挑戦」 ～初めての商談会を開催～

山梨県酒造組合(北原兵庫会長)は、10月1日山梨県防災新館やまなしプラザにおいて、日本酒の日に商談会、日本酒セミナー、試飲会を3部構成で開催した。

これまで組合では、秋の試飲会を開催してきたが、今回は組合員15社が蔵自慢の逸品を持ち寄り、合計41銘柄の山梨県産酒を集結した商談会を初めて行った。商談会には、県内外の卸店・小売酒



商談会風景

販店・大手スーパー等の仕入担当者約40名が会場を訪れ、各ブースで試飲をしながら好みの酒を探し、商談を進めていた。

小宮山事務局長は「初めての商談会だったが、大きな手応えを感じた。山梨県の日本酒の知名度をあげるために、日本酒の美味しさを先ずは県内の皆さんにPRしていきたい」と話した。

また、山梨県においても年々日本酒の消費量が減少していることから、組合では3年前から甲府駅周辺で県産の日本酒が呑める店の地図等も作成し消費拡大に努めてきた。この度、消費拡大の一環として、山梨県内で作られた日本酒を始めとするお酒を常時3銘柄以上提供する県内の飲食店を「県産酒が呑める店」として認定する制度を発表し、この日スタートした。

同時に行われた日本酒セミナーでは、杜氏から「秋は春先に生まれた新酒がひと夏を超し、熟成して飲み頃となる『秋あがり(ひやおろし)』の時期です。豊稔の秋にふさわしい穏やかで落ち着いた香りを放ち滑らかな口あたりを味わって欲しい。」と説明があり、約400名以上の一般消費や愛飲家などが参加した試飲会では、新酒とは一味違うこの時期限定の日本酒が味わわれ、盛会の内に終了した。

また、組合では11月14・15日の県民の日に、小瀬スポーツ公園で試飲・販売会を開催する予定。

山梨県酒造組合



県産酒が呑める店

...チャレンジ! 6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者(1次産業)が地域にある農産物等を活用し、商工業者と連携して加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることです。
このコーナーは、中央会が6次産業化サポートセンターとして支援している事業者の取り組みを紹介します。

不耕起及び草生栽培による自家栽培葡萄のみで 醸造した高品質ワインの開発と販売

●ペイザナ農事組合法人 代表理事 小山田 幸紀氏



6次産業化に取り組むこととなった経緯は?

私は笛吹市内のワイナリーである(株)ルミエールに入社後、長年ブドウ栽培とワイン醸造に従事しながら、個人でも畑を借りブドウ栽培を行ってきました。その際、地域の農業者の高齢化と若者の離農、農業機械が使用できない効率の悪い条件不利地が耕作放棄されるといった問題を目にしました。また、農薬を多用することで土地が脆弱化し、「費用と手間がかかる農業」になってしまっていることも感じていました。



BOW!白赤、洗馬ボトル

そこで、これまで試行錯誤してきた農法を実践し、自社の畑で栽培したブドウのみを使った高品質なワイン醸造をするため、農事組合法人を設立し、独立しました。

6次産業化への課題はなんでしたか?

「畑から飲まれるまで高品質に」をコンセプトに、農薬や化学肥料を使用せず、草生栽培による不耕起、無堆肥で、土壌の持つ地力やブドウの木そのものの力を引き出し、高品質なブドウ生産を行っています。また、耕作放棄されている傾斜地等の条件不利地の中からこの農法に適する好適地を借り受け、高品質のブドウ栽培の拡大に取り組んでいます。

ワイン醸造では人工酵母や発酵助剤等の使用を一切行わず、ブドウに付着した自然酵母を用いて発酵を行っています。スパークリングワインづくりでも、シャンパーニュに代表されるトラディショナル方式をアレンジした独自の方法で、酵母の添加を行わずに製造しています。

ブドウの栽培からワイン醸造まで自然派を貫くことと、これまでのワイナリーでの経験とにより、ワイン業界で浸透しつつある自然派の作り手の名前を前面に打ち出した「小山田ブランド」の確立に成功しました。

今後の展開は?

ブドウの希少品種や日本ではほとんど栽培されていない品種を適性を考慮して導入し、これまでの栽培経験を活かして育てていきたいと考えています。その畑に適した品種を植栽し、ブドウを生産した畑の地名をワインに冠し、日本ではまだ確立されていないワインのテロワール化(「土地」を意味するフランス語から派生した言葉。作物が持つその土地特有の性格のこと)で山梨市の日向地区、万力地区、勝沼町の祝地区のブランド化を図っていきたいと考えております。

今後は、販売先であるヴァンクール社と連携し、市場調査によるリリース時期の決定や全国優良酒販店、レストラン、消費者への製品・販売情報の発信を行い、「ヴァンクール=自然派ワイン」のイメージを活かした小山田ブランドの強化、農場見学・テイasting・食事なども含めたワイナリーツアーを実現したいと考えております。

やまなし“ものづくり”最前線!

ロック板レス駐車場システムの開発

●株式会社サニカ 代表取締役 林 憲正氏

株式会社サニカ(林憲正代表取締役 南アルプス市十日市場)では、平成24年度ものづくり試作開発補助金を活用し、「ロック板レス駐車場システムの開発」に取り組んだ。

現在、街中にある駐車場は「ロック板駐車場」と「ゲート式駐車場」の2つに大別される。ロック板駐車場では、ロック板の設置による入庫経路の制限やロック板と車輦の干渉の問題がある。一方、ゲート式駐車場ではロック板に関する問題はないものの、駐車券などの発券費用等が課題となっていた。そこで、サニカでは駐車場利用者及び運営者の利便性を向上させる「ロック板レス駐車場のシステム開発」に取り組むこととした。



ロック板レス駐車場とカメラポール

今回開発する駐車場システムでは車輦干渉などの原因となるロック板やゲートが無い駐車場のため、無精算者を防ぐ必要がある。そのため、サニカではこの課題に対し、カメラによる車番認識システムの導入を行った。これは、駐車スペース後方にナンバープレート(車番)認識カメラポールを設置し、車輦ナンバーの撮影、駐車時間の計測を行い、その駐車時間に基づき出庫時に精算するものである。

開発では、今回のシステムの中核となる車番認識カメラの位置や設置角度等を決めるため実験を行った。駐車場は昼夜利用されるため、カメラは太陽光や車輦のヘッドライトの影響を受けやすく、フロント入庫やバックで

の入庫により車番位置も変わる。今回の実験により、これらの課題に対し影響がなく、はっきりと車番認識ができるカメラ位置と角度を決定することができた。

次にカメラで認識した車番を駐車場システムに取り込むための基盤設計とソフト設計を行った。サニカでは、これまで自社で開発してきた駐車場システムを応用し、車番取り込みシステムと精算業務を連動させる環境を整えることができた。

しかし、カメラや車番認識のためのライトの消費電力の削減という課題も残されており、今後は、入庫状況に応じてカメラの電源のON/OFFが出来る制御機構の追加やライトの最適化に取り組んでいくこととした。

林社長は「当社では長年、駐車場のロック板製造を行ってきた。しかし、今後の駐車場市場は更に利便性が追求され、ロック板が無くなる機構を採用する駐車場が増えていくことが予想される。今回の開発はこの動きを先取りしたもので、今後ロック板の需要が減少しても新たなロック板レスシステムに移行することができ、市場の変化に対するリスクヘッジのための地盤ができた。」と今回の開発の意義を語ってくれた。



林社長と開発したカメラポール

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。

経営者に聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接お話しを伺うことで、学生と企業の相互理解を進め、雇用のミスマッチ等の解消を目的としています。

学生企業レポート 第54回



経営者

河野造園土木 株式会社
代表取締役社長
河野 嘉孝 氏

face to face

学生



帝京科学大学
生命環境学部 自然環境学科
3年 白井 あかり さん

▶ 学生 会社概要、事業内容について教えてください。

▶ 経営者

当社は祖父が甲府盆地が戦争で焼野原になった時、「復興には緑が必要だ」と考え花や木の植栽のために始めた花屋がもとで、昭和52年に父が設立しました。

以前当社は、公共工事が7割、民間工事が3割でしたが、バブル崩壊後に公共工事が減ったことから、現在は、民間工事主体に変わっています。昔の造園工事は、庭は植木屋が、門や塀は土木業者が施工していましたが、当社は造園業を住宅の外観にあわせた門や塀から玄関までのアプローチを含めた庭園造りのトータルコーディネートとしてとらえ、植木だけでなく土木工事も行っています。

▶ 学生 求める人材についてお聞かせください。

▶ 経営者

当社では、社員一人に現場ごとの担当を任せ、顧客との最初の打ち合わせから、設計、見積もり、施工、完成後のアフターフォローまで社員一人で全てこなせるようになることを求めています。造園技術を習得するには10年くらいかかります。同じ造園業界でも会社によ

て経営方針や事業の方向性、人材育成の考え方などが異なりますが、当社では経験者を中途採用するよりも、若い人材にゼロの状態から勤めてもらいたいと考えています。最も重視することは、一生懸命仕事をする真面目さと器用さですが、短時間の面接でそれを見極めるのはとても難しいことから、態度や挨拶ができるかどうかを判断材料の一つとしています。

▶ 学生 学生時代にしておくべきことをお聞かせください。

▶ 経営者

コミュニケーション能力を身につけるためには、様々な人と交流することです。大学の勉強だけでなく、アルバイト先や大学の教授などの目上の方との接し方を養うことがとても大切だと思います。学生時代に様々な経験を積むことが、社会人になって絶対に役に立ちます。

取材を終えて…

とても和やかに笑いも交え会話を進めてくださり、学生の私でも理解できるよう説明していただき、とても充実した時間を過ごすことができました。貴重な経験をこの時期にできたことで将来についての考え方も変わり、今回の経験を今後の就職活動に生かしていきたいと考えています。



学生企業レポート 第55回



学生

山梨県立産業技術短期大学校
観光ビジネス科
1年 棚緒 菜々子 さん

「明・元・素」明るく、 元気で、素直が大切

経営者



株式会社 石和名湯館 糸柳
代表取締役
内藤 修也 氏

▶ 学生 御社の概要についてお教え下さい。

▶ 経営者

糸柳は、開業から今年で136年、私で5代目になり石和で一番の老舗旅館です。当地は甲州街道「石和宿」として昔から繁栄していました。明治の初期に「榎屋」と言う屋号で料理屋と宿屋を兼ねた施設として営業を始めました。昭和に入り中央線が開通すると現在の場所に移転し、屋号を「糸柳」に改めました。私が生まれた昭和36年には石和に温泉が湧出し、石和温泉郷も私も同じ54年目を迎えました。

糸柳の現在の建物は平成10年3月にブランドオープンし、平成17年には糸柳別館「離れの邸和榎苑」、平成22年には「くつろぎの邸くにたち」と展開してきました。そして平成25年には、私の思いを込めたこだわりのカレーを提供する「ジョイアル・カレー」を立ち上げ、甲府の平和通りにもアンテナショップ「ジョイアル・カレーサロン」をオープンし、現在は全国展開を目指しています。

▶ 学生 経営において心掛けていることをお聞かせ下さい。

▶ 経営者

糸柳では、従業員に「我々の仕事はお客様を元気にすること」であると常に伝え、接客・温泉・料理を3本柱として、訪れてくださった全てのお客様がリフレッシュして元気になっていただけるようなサービスや接客を心がけています。また「従業員1人1人に光を当てた経営」を心がけており、これらが当社の経営理念となっています。

先代から経営を引き継いで25年となりますが現在私が経営において大切にしていることは、ものごとの見方は未来を中心に、ものごとの考え方は相手を中心とした「利他スピリッツ」であること、ものごとの捉え方は、全ての原因は自分自身にある「因、我にあり」の3つです。会社の良い悪いは全て経営者である自分の考え方にあると考えて経営してきました。経営者は一生挑戦、チャレンジを続けていくものだと思います。

取材を終えて…

インタビューを通じて内藤社長の熱意あふれる思いと優しい人柄を感じることができ、「明元素」や「利他スピリッツ」等の興味を引かれるお言葉と印象深いお話を伺う事ができました。今回の貴重な体験を活かして、将来に向けて取り組んでいきたいと思っています。

▶ 学生 御社が求める人材についてお聞かせ下さい。

▶ 経営者

明るく、元気で、素直な人材です。頭文字をとって「明元素」と呼んでいます。その上で糸柳での仕事を通じ、男性は勇ましい「益荒男(ますらお)」に、女性は優しさと相手に対する「利他スピリッツ」を身につけ、人間形成を経て幸福になってほしいと考えています。

▶ 学生 学生時代にしておくべきことは何ですか。

▶ 経営者

学生の内から様々なところで働いてみて、多くの人に接していただくこと。何事も実践することがとても大切です。次に良い本をたくさん読むこと。そして親孝行をすること。恩に報いるということは大事なことでと思います。



●山梨県中小企業団体青年中央会

新加入青年部も参加し、 親密な交流を

平成27年度組合青年部県大会を開催

10月26日(月)山梨県中小企業団体青年中央会(須田猛会長 会員25名青年部)は、平成27年度組合青年部県大会を甲府市の古名屋ホテルで開催した。

県大会は講演会と交流会の2部構成で青年部間の交流や、青年部の活性化及び組織強化を目的に毎年実施しており、今回は県内組合青年部等の若手経営者や後継者約40名が出席した。

講演会では、GLITTER STAGE代表の七條千恵美氏が少子高齢化社会の到来により今後日本のあらゆる業界でシニア顧客に合わせたサービスが求められるとし、「若いスタッフがシニア顧客を虜にする3つのポイント」をテーマに講演が行われた。七條氏は講演の中で、「今後重視されるのは外見力・察知力・会話力の3つがポイントとなり、外見力は身だしなみや表情をはじめとするいわゆる視覚から入る印象を高め、コミュニケーションの中で相手の様々なことに気づく察知力と意思を伝える表現を豊かにする会話力の3つの要素を重視しながら、各々のスキルを高めることで一番に思い出され選ばれる人になる。ものを買うだけならネットで済む現在では、ここで買いたいと思われないところは淘汰されていく。」とし、顧客を虜にする方法を具体的な例を交えて説明がされた。



講師のGLITTER STAGE代表 七條千恵美氏



あいさつする須田猛会長

その後の交流会では七條先生も参加し、山梨県産業政策課の立川課長、商工中金甲府支店の住本支店長、友好団体として山梨青年工業会の原会長、山梨県商工会青年部連合会の前島会長、中央会からは松葉会長を来賓として招き、懇親を深めた。

また、今年度新加入した甲府市管工事(協)青年部会からの参加もあり、新たな業種との情報交換・異業種交流が各テーブルで行われ、盛会の内に終了した。

県内経済の発展と中小・小規模事業者の 経営の安定に向けて

～中小・小規模企業の振興に関する要望書を知事に提出～

10月27日(火)、甲府市「ホテル談露館」において、山梨県知事と商工団体との懇談会が開催され、商工団体から本県経済の総合的発展のための5点の要望事項が後藤知事に提出された。

山梨県からは後藤斎知事をはじめとして幹部職員が、また、中央会からは松葉孝会長をはじめとして飯室元那、坂本政彦、千野進、渡辺教一の4副会長が出席、甲府商工会議所、富士吉田商工会議所、山梨県商工会連合会の正副会長等とともに県内経済の発展に向けての要望を行った。

懇談会で知事へ提出された要望事項は、「小規模事業経営支援事業費補助金と中小企業連携組織対策事業費補助金の所要額の確保」を4団体の共通事項として要望を行うとともに、富士吉田商工会議所の堀内会頭から「富士山景観配慮条例の制定と観光関連企業立地の推進」について、甲府商工会議所の金丸会頭から「甲府開城500年に向けた事業展開」について、山梨県商工会連合会の小林会長から「中小・小規模企業対策の抜本的強化」について要望があり、中央会の松葉会長からは「官公需の地元中小・小規模企業の受注確保」について要請を行った。

中央会の要望に対して、知事からは「中小企業への発注はできるだけ取り組んでいる。県内企業もJV(共同企業体)による受注確保などに取り組んでいただきたい。」とのコメントがあった。

また、引き続き行われた懇談では松葉会長、飯室・坂本副会長から、「知事が検討されている人口減対策は本県経済の活力維持のために必要であり、

知事と商工団体との懇談会



知事に要望書を手渡す商工団体の代表者



中央会の要望を伝える松葉会長

経済界としては県内の優秀な人材を県内の優良な中小企業に定着させることに取り組んでいきたい。」との意見が出された。知事からは「県財政が厳しい中で来年度予算も削減しているが、県が9月に取りまとめた『山梨県まち・ひと・しごと創生ビジョン』に資する事業については別枠で考えていきたい。」との回答があった。

情報BOX

「来て見て体験！」

富士山静岡空港」視察会

富士山静岡空港の施設や設備、コンパクトな空港ならではの利便性を体験していただくために、山梨県企業様を対象に空港視察会を開催します。

現在、国内4路線(新千歳、福岡、鹿児島、那覇)、海外13路線(ソウル、台北、上海、武漢など)が就航。ビジネス、観光にご利用いただけます。

開催日 平成27年12月11日(金)

集合場所・時間 甲府駅北口 9時

※17時30分頃解散

視察内容 空港ターミナルビル、貨物ターミナル、航空機格納庫など

参加費 無料 ※昼食代は別途負担ください。

申込期限 平成27年11月25日(水)

申込先 ☎054-221-3539

(静岡県空港利用促進課 堀尾)

までお問い合わせください。

富士山静岡空港HP

<http://www.mtfuji-shizuokaairport.jp/>

参加者
募集!

中小企業者のための共済事業

共済にかけて安心 伸びゆく企業

普通・総合・新総合火災共済

皆様の財産を火災や自然災害等からお守りする共済制度です。

生命傷害共済

病気・けが等により死亡や、けがによる入・通院費用等を保証する共済制度です。

休業補償見舞金共済

災害等によって休業した場合にその損失を補償する共済制度です。

医療総合保障共済

医療(病気・けが)共済とがん共済をセットした共済制度です。

当組合は、中小企業とその経営者・従業員の方々を対象とした共済事業を行っております。

3つの特色で皆様の企業をパワフルにバックアップします。

●安い掛金 ●迅速な支払 ●剰余金は契約者に還元

山梨県火災共済協同組合 山梨県中小企業共済協同組合

甲府市中央1-12-37 IRIXビル3階

TEL(055)235-7564 FAX(055)235-7538

企業間の 人材マッチングを 支援しています。

経済・産業団体、ハローワーク等と連携し、
全国ネットを通じて、人材の確保、
従業員の再就職支援に
努めています。

全国ネットの人材情報

企業間の出向・移籍のお手伝いを47都道府県の事務所でしています。

確かな実績と信頼
昭和62年に経済・産業
団体と国の協力で設立さ
れた公益財団法人です。

幅広いデータベース
ハローワークや経済団体
などと連携し豊富な人材
情報を提供しています。

相談等の費用は無料
情報の提供、相談、あっせ
んについての費用はかか
りません。

安心と信頼のネットワーク

公益財団法人 産業雇用安定センター 山梨事務所

インターネットで最新の人事情報をどうぞ

URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

山梨県甲府市丸の内2-14-13 ダイタルビル2階 TEL.055-235-6236 FAX.055-235-6252

●第46回 中小企業団体親睦ゴルフコンペ●

山梨県山碎石事業協同組合が2連覇!!

中央会では10月17日(土)、毎年恒例となっている中小企業団体親睦ゴルフコンペを笛吹市「ウッドストックカントリークラブ」において開催した。

当コンペは中小企業団体の親睦と交流を図ることを目的に開催され、今年は中央会会員など70名が参加した。

当日のスタート時はあいにくの空模様であったが、時間とともに秋のゴルフ日和となり、参加者は団体戦・個人戦でゴルフの腕を競いあい、プレイを通じて親睦を深めていた。

プレイ終了後、参加者により交流会を兼ねた表彰式が開催され、個人戦と団体戦の順位賞の他、ニアピン、ドラコンなどの特別賞(個人戦)が発表され、それぞれ賞品が贈られた。

団体戦では2年連続「山梨県山碎石事業協同組合」、個人戦では「海野一浩(山梨県山碎石事業協同組合)氏」がそれぞれ優勝を飾った。



2年連続の団体優勝を果たした山碎石事業協同組合(真ん中は中央会松葉会長)



団体戦

- 優勝 …… 山梨県山碎石事業協同組合
準優勝 …… 山梨県水晶宝飾協同組合
1位 …… 山梨県食品工業団地協同組合
2位 …… 山梨総合管財事業協同組合
3位 …… 東京海上日動火災保険株式会社

個人戦

- 優勝 …… 海野 一浩 (山梨県山碎石事業協同組合)
準優勝 …… 望月 平 (山梨中央建設協同組合)
1位 …… 小池 正雄 (山梨県山碎石事業協同組合)
2位 …… 石原 英司 (上野原機械器具工業協同組合)
3位 …… 中込 文人 (山梨県食品工業団地協同組合)
ベストグロス …… 瀧田 政彦 (山梨生コンクリート協同組合)

Come on! Truck Driver!



トラックドライバーの仕事って何? 荷物を運ぶ仕事? いえ、トラックドライバーの仕事は「運ぶ仕事」ではなく「運ぶ仕事」です。ご存知でしょうか、国内物流の約9割を担っているのはトラックであること。今日出した荷物が明日には早く「そんな当たり前」の路にはトラックドライバーがいることを、荷物を持つ人のもとへトラックドライバーは預けた荷物とともに「生産・流通」を後ろに載せて、より確実に、環境に配慮しながら、今日も走り続けています。トラックの魅力を教えてほしい? それは乗っていただければわかります。人の想いを運んであげてください。さあ未来へと走ってみよう、トラボーイ、トラガールとして。

平成27年度環境標榜最優秀作品

トラックが僕らの未来を守ります
暮らしと荷物と環境を

(一社)山梨県トラック協会・(公社)全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨を支える企業とともに

「経営改善策定支援事業」を利用し、経営改善を行う方の
負担額の2分の1を補助します

●取扱例: 経営改善費用150万の場合

国: 100万円 保証協会: 25万円 事業者負担額: 25万円

※詳しくは下記までお問い合わせください。

無料相談実施中

●当協会では、中小企業診断士・経営アドバイザーが金融・経営に関する相談を受け付けております。

◆相談日 第1・第3木曜日(原則) ◆時間 16時~18時
◆場所 本店: 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館1階

事前予約制 下記までお気軽にご連絡ください。

山梨県信用保証協会

甲府本店 TEL 055-235-9700
0120-970-260
富士吉田支店 TEL 0555-22-0992

情報BOX

今年度から 山梨県障害者職業能力検定 が始まります!

この検定は、障害者が職業に関する技術・技能に習熟し、企業への円滑な就労や職業意識・職業能力の向上を促進することを目的としています。

検定日 12月5日(土) 午前9時から
12月6日(日) 午前9時から

検定会場 山梨学院短期大学
(スイーツスタジオ、サザンタワー)

受検対象者 15歳以上の知的障害者

実施する検定 ●接遇サービス検定
●事務アシスタント検定

問い合わせ先

山梨県産業労働部 産業人材課 技能振興担当
TEL: 055-223-1566

事業主のみならずへ ~優秀な人材確保への近道!~
ご存じですか?

「求人セット型訓練」

求人セット型訓練(求人者委託訓練)とは?

企業が採用に先立ち、自社を訓練実施場所に、職場実習を中心とした「職場内訓練」を実施します。

求職者の適正や、実務能力の把握と向上を前提に、実際の業務をしながら勉強するOJT方式の訓練ですから、訓練修了後は即戦力として採用することができます。

※雇用保険の適用事業所の事業主である必要があります。

- 訓練期間は原則3ヶ月間です。
※内容・採用時期により短縮も可
- 訓練期間中は「賃金」の支払・「社会保険」への加入はなし。
- 事業主に対しては、委託訓練費が支払われます。
訓練生1人あたり: 64,800円(消費税込)/月
- 訓練生(求職者)の紹介は、ハローワークから受けられます。

問い合わせ先

山梨県 産業労働部 産業人材課
TEL: 055-223-1567 (内線4855) まで

編集後記

今年も残すところあと2ヶ月。平成27年度事業もあと少し…と安心していませんか!?しかし、既に国では平成28年度予算について話し合われています。予算?…つまり補助金です!皆さまも今から各省のホームページをチェックし、どのような施策(補助金)が出るのか確認してみているかがどうか?もしかしたら、皆さまが求めているような補助金が出るかも知れません。そして、その補助金に対し早めの準備をすることで、補

助金申請をスムーズに行え、補助金ももらえる可能性もアップします!

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

Yamanashi Kenmin Shinkumi

けんみん信組
カードローン

My Pleasure Plus
マイプレジャープラス

27年4月
リニューアル!

皆さまの日常を便利に変える、カードローン「My Pleasure Plus」
この一枚で手に入れる、あなたの新しい「Pleasure」を

ご融資金額 最高800万円まで

ご融資利率 (一般のお客さま) 年3.80%~年14.50%
固定金利(1年自動更新)

当組合にて住宅ローンなどご利用のお客さまは
さらに、0.5%優遇!

ご融資利率はお客さま毎に審査のうえ決定致します。
パート・アルバイトの方OK!
スマートフォンからも申込みができます!

詳しくは、けんみん信組の窓口または、営業係までお気軽にお問い合わせください。

スマートフォンでけんみん信組の窓口まで
お申し込みいただけます。
お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。

山梨県民信用組合
http://www.yamanashikenminshinkumi.jp/